

助成番号

2019年度 特別重点研究助成実施状況報告書

2020年 3月 26日

学長殿

研究	所属・職 国際コミュニケーション学部・教授
代表者	氏名 塩山 正純

研究課題	愛大の研究資源デジタルアーカイブとオープン・プラットフォームの構築
研究の中心となる研究所	国際問題研究所
<p>研究実施状況の概要</p> <p>研究成果の公表、学内・学外機関による評価の実施、外部資金獲得への取り組み状況等についても記述してください。</p> <p>本研究課題は、申請時にも記述したように、愛知大学が主に人文社会学の分野でこれまで蓄積してきた研究リソースを広く社会・世界へ発信し、本学の研究プレゼンスを広く内外にアピールし、さらに学内の学生への教育にも活用できるように、学内各単位で所蔵する重要資料のデジタルアーカイブ化を目指して活動している。</p> <p>1年目である2019年度は、前年度末の申請段階における資料選定方法の作成などのスタートアップ作業と年度初めにおける貴重資料のデジタル化対象資料の選定作業までは概ね順調に進捗したと言える。例えば、今年度にデジタル化の作業に入った資料としては、郷土研所蔵資料では『三州吉田御城内絵図』などの江戸時代資料を選定し、なかには慶長年間の検地帳も含まれる。名古屋図書館所蔵資料では、第二次世界大戦期のバンコク地図や日本によるプロパガンタ資料などタイ関係のもの、さらに近代中国における東西言語文化接触の一次資料となる数種の漢訳聖書を選定した。豊橋図書館所蔵資料では、『韓非子翼毳』『兵学指南』など明治期、李氏朝鮮時代の資料を選定した。国研、ICCS所蔵資料については、両単位にはすでにデジタル撮影済みのデータがあるものの仕様の更新が必要なものについて、2年目以降での更新・最適化作業を予定してすでにリストアップを開始している。書院センター関連資料については、過去の補助金によってデジタル撮影のみ完了している資料について、やはり2年目以降の作業のためにデータの複製とHDDでの保存を完了した。</p> <p>一方で、例えば郷土研資料には一辺が2m60cmを超える超大型地図(『三州吉田御城内絵図』)など、極めて希少価値と資料的価値の高い超大型古地図や、保存状態が良好とは言えない漢籍資料(和綴本)の扱いなどについては、デジタル化対象資料として一旦選定はしたものの、その後選定リストを精査する段階で、予測された以上に作業で高度な技術と十分な時間の確保が求められることが判明し、検討の結果、拙速な作業を避けるためにも次年度に持ち越すこととした。また、当初計画では一部の資料については学内でのデジタル撮影・デジタル化作業を予定していたが、長期スパンでの外部への公開に耐えうる質を追求するべきであるという立場から、全ての資料について、基本的には外部の専門業者に依頼することにしたため、学内での簡易的な作業が行われないことから表面的には工程に遅延が生じることになった。そして、計画段階から諸々の事務的な面での支援を期待していた事務体制に大きな変化があったこと、デジタル化に係る専門的作業の外部委託の際に必要な仕様書が6月までには作成の準備が整っていたものの、その後の作成段階で手違いがあり、結果として5ヶ月ほどの時間を要することになった。さらには、仕様書の内容に関する理解についても、我々の側と複数の入札業者間との間で認識の齟齬の解消のためのやり取りに想定外の長時間を要したことなど、複数の要因が重なり、研究活動の遂行に遅延が生じることとなった。</p> <p>上記のように、研究メンバーによる資料の選定作業等の学内で完結する作業工程はほぼ予定通りに進行したが、主に調達に関わる部分について、本来ならば10月或いは11月中旬にデジタル化の作業を開始し、年明けには同作業の完了とともに、解題作成、WEBで運用するプラットフォームの設計等の作業に入って</p>	

いるはずが、実際には2月末に漸く調達が完了して、3月6日から資料搬出・デジタル化作業が開始する、という大幅な遅延が発生した。無理な作業とその結果としての不具合を避けるべく、現在進行中のデジタル化作業は、3月27日の我々と業者とのデータ確認作業を経て、2020年5月末に完了して、完成品データが納品されることとなっている。但、大幅な遅延は生じてはいるが、すでに業務委託でデジタル撮影・データ化の工程に入っており、5月末の納品予定日も確定している。計画段階では1年目に行うはずであったメタデータ作成と解題作成を、納品されるデータをもとに順次行うことになる。

外部資金の獲得についても、デジタルアーカイブ構築の分野では、例えば、関西大学が私立大学ブランディング事業の補助金を獲得した先進的な取組みと言えるが、文科省の決定で期間の短縮を余儀なくされるなど、補助金獲得に向けた見通しには厳しい状況である。獲得見込みのある補助金がなかなか見つからないのが悩ましいところではあるが、継続的に申請に向けた情報収集に努めたい。